

ひと



細い路地が続く城下の町であることが「マ
特有の町・雑賀。開府の町で歩いてもら
で栄え、若槻礼次郎やえれば分かる」と胸を
岸清一ら多くの偉人も張る。
輩出した、歴史と教育 自慢のマップは、町

松江開府400年で雑賀の町歩きマップを作
った雑賀まちづくり推進協議会会長

佐々木 武男さん

民有志で5年前に結成し、会長を務める雑賀まちづくり推進協議会と、公民館が協力して作製した「さいかまちあるきマップ」。地図に資料館や記念碑など24の雑賀の「財産」を紹介している。

「雑賀には歴史があると、よく耳にするが、具体的に発信していかないと、広がりはない」と、協議会を立ち上げたのも雑賀のPRが発端

なだけに、行動はマップ作製にとどまらず、町歩きが楽しくなるような旧町や丁、小字名を記した石柱の設置にも及ぶ。

今後、思い描くのは町歩きのガイドの養成。雑賀生まれの雑賀育ちではないものの、今では「歴史ある城下町にすっかり魅せられた」ようで、情熱とアイデアは尽きない。

松江市雑賀町、77歳。